



一般社団法人 巨樹の会

明生リハビリテーション病院

Smile with your heart

スマイル

明生リハビリテーション病院季刊誌 Vol.20



Photo

西武ドーム観戦
集合写真



Contents

2P 七夕祭り

3P 新人マナー研修

4P 西武ドーム観戦へ行ってきました・調理活動報告

5P 訓練機器の紹介・ふれあい看護体験

6P 山田 達夫の健康コラム

7P りらいふ通信

8P 医療連携室かわら版

2015.Summer

七夕祭り



リハビリテーション科 作業療法士 **西山 達也**

7月5日に七夕会を実施させていただきました!当日はスタッフからの出し物のコバトンよさこいやハンドベルを実施させていただき、普段のリハビリの風景とは一味違った雰囲気となりました。また毎年恒例のゲーム、全員参加型の風船送りも盛り上がり、患者様にも夏を感じていただけたのではないかと思います。年末にはクリスマス会も予定しているので、スタッフ一丸となって準備していきたいです!

新人マナー研修



2階病棟看護師
三浦 幸作

接遇研修と聞いて、つまらない研修・硬い感じの研修というイメージがありました。実際に研修を受けると、とても楽しく笑いながら研修を受けられました。

内容も具体的な例が上げられ、思わず“なるほど”と納得してしまうほど分かりやすかったです。すぐにでも実践可能なものばかりであり、語先後礼や丁寧語など意識しながら患者さんが受けていて気持ちがいいと思えるような看護を行っていききたいと思います。



2階病棟看護師
神山 浩紀

接遇オリエンテーションを学び、社会は全て人と人の繋がりで成立していると改めて感じました。更に社会との繋がりをより円滑に進めるためには挨拶や身だしなみから始まり、ペーシングなどのテクニックを身につけ使用することは、とても重要であり、当院の総合的な満足感の向上にも必要不可欠と考えました。私は、どんな時も患者様に寄り添い、共感し合える気持ちを大切に持ちながら、共に病院での治療を根気よくサポートしていきたいと思っています。



リハビリテーション科
若月 智恵

マナー講習では社会人として重要なことを学びました。責任感を持って行動することやコミュニケーションの大切さ、身だしなみが与える印象について学びました。また、病院という組織の中で働く上で、チーム医療が大切だということを感じました。病院は地域社会に支えられているので、職員だけではなく地域で関わっていただいている方が多くいることを改めて感じました。今後は、自分たちで地域を支えられるような活動をしていきたいと改めて感じました。



西武ドーム観戦へ 行ってきました!



8月1日、西部プリンスドームに西武ライオンズVS福岡ソフトバンクホークスの試合を見に行ってきました。九州出身のスタッフもいるので、お互いのチームの応援をしました。また、その日は試合終了後にイベントがありグラウンドに降りることができました。グラウンドに入るのは初めてだったので、とても嬉しかったです。機会があれば、また皆で観戦に行きたいです。

リハビリテーション科 理学療法士 山口 彩香



調理活動報告

今回は7月7日の七夕にちなんで「七夕ゼリー」をつりました。フルーツを星のかたちにくり抜いたり、細かく切ったものをゼリーの上に飾る事で色鮮やかになりとても綺麗で、参加された患者様も喜ばれていました。夏らしく見た目も涼やかなものになりました。

リハビリテーション科 作業療法士 刈谷 千夏



リハビリ用 物品の紹介

免荷機能付歩行器オールインワン



オール・イン・ワンは、安全・快適に歩行が楽しめるようリフト構造で上から体重を支える免荷機能付きの歩行器です。立位が不安定な方でも行動範囲に制限を受けることなく、安全かつ快適に歩行を行うことができます。その他にも当院では足の筋力が弱って一人では立てない方、痛みが強くて足に体重をかけられない方、ふらふらしてすぐに倒れそうになる方など、多くの患者様に使用していただいています。



ふわあい 看護体験

7/30

回復期リハビリテーション病院の特徴をいかし、午前は看護師体験、午後はセラピスト体験をしていただきました。今年度の参加者が1名であったことから朝は緊張で表情がかたかったのですが、スタッフと濃厚な体験時間を過ごすことで、次第に笑顔をたくさんみることができました。「看護師業務には様々な仕事があり、体験できたことはとても貴重でした」と感想の話してくれました。一般病院とは違うスタッフの働きを知る事ができ喜んでいただけました。

看護師長 柴田 智美



一般社団法人 巨樹の会 関東統括特別顧問
 山田 達夫
やまだ たつお
 一般社団法人 巨樹の会 関東統括特別顧問
 神経内科認定医
 昭和23年生まれ 山梨県出身
 昭和49年：東京医科歯科大学医学部卒業
 平成 9年：福岡大学医学部神経内科学教室 教授
 平成23年：一般社団法人 巨樹の会 関東統括本部長に就任
 平成26年：関東統括特別顧問に就任

抗炎症によるAlzheimer病(AD)治療

— プラズマローゲン含有ゼリー摂取による新治療法の紹介も含めて —

アルツハイマー病(AD)脳では慢性炎症状態にあり、様々な液性因子や細胞性因子が活発に作用し、ADの分子病理形成(発症や進行)に関与し、一方でamyloid-β(Aβ)沈着は炎症を引き起こすともいわれています。その炎症の抑制という観点から、以下3点がAD予防・治療に対して有効であるとするエビデンスが蓄積されつつあります。

- ①地中海食などによる食習慣改善
- ②歯周病治療
- ③最近注目されている脳内抗炎症作用を有する食品の使用

一方、20年来議論されてきました非ステロイド系抗炎症薬(NSAIDs)のAD治療効果は、未だ明確になっていません。最近のメタ解析は観察研究による抗炎症薬の有効性を支持するものもありますが、ランダム化された二重盲検試験では有意差なしという結果でありました。以下上記①-③の三点について説明いたします。

まず①の地中海食についてであります。地中海地方のナポリその近郊に住んでいる人々にはAD発症が少ないといわれている点がAD予防という観点からしばしば取り上げられます。野菜、果物、穀類、豆や魚に富み、オリーブオイルとナッツを添加し、赤ワインを摂取して、かつ赤肉や乳製品を少なめで、加工食品は極少量とするもので、世界中で最も健康的な食事パターンの一つとされています。そしてこの地中海食が抗酸化作用のみならず抗炎症効果を生むといわれています。最近の地中海食に関する論文のメタ解析は、軽度認知障害(MCI)やADの発症を減らし、MCIからADの移行を減少させる効果のあることを証明しましたが、十分信頼できる前向きコホート研究の遂行が困難であるため、明確なエビデンスは得られていないのも事実であります。

次に②の歯周病についてであります。これは慢性持続性の、複数の細菌やウイルスによる感染症で、局所・全身の炎症です。歯の脱落を引き起こし、いくつかの疾患(2型糖尿病、動脈硬化症など)の危険因子となりうる事が知られており、さらには、ADの危険因子とも指摘されています。

(1)ウイルス、歯周病菌や菌体成分が直接に局所炎症反応を生じ、それによって産生されるサイトカインなどが標的臓器に血行性あるいは神経性に到達するメカニズムなどが解明されつつあり、(2)モデルマウスを用いた実験により、歯周病感染によってADの分子病態の悪化がみられたという報告があり、(3)歯周病によっても歯の脱落は起こりますが、歯の脱落単独でも三叉神経障害を介する海馬の神経細胞脱落を生じることが証明され、(4)5年の前向き疫学研究で歯の脱落はMCIを発症しやすいという事実が明らかになり、(5)歯周病はアミロイドPETによって検出される脳内アミロイド蓄積を引き起こし、その関連は認知障害による二次的なものではなく、(6)歯周病のような細菌などによる慢性炎症によって抗細菌作用のあるAβの放出がおこる、などの事実が報告されています。**歯周病は比較的簡単に治療可能である故に、修飾可能な危険因子とみなすことができます。**

最後に③の最近注目されているプラズマローゲン(PL)について解説します。PLはリン脂質であり、経口摂取によってその血中濃度が増加することが示されています。また、AD剖検脳での減少が知られ、同様にAD患者血中での減少も明らかになっています。モデル動物を用いた実験から、PLは炎症物質による神経炎症(サイトカインの発現やグリアの活性化から判定)やAβ蓄積を抑制することが明らかになりました。さらには、老化促進マウスを用いた実験からPL含有食は海馬の神経新生を増強することや海馬へのAβ注入による空間認知学習障害を抑制することが明らかになっています。**従って抗神経炎症とアミロイド生成予防などの点からPLは抗AD薬としてその予防・治療効果が期待されているサプリメントであるといえます。**現在、全国の10施設で臨床試験が実施されていますが、MCIやADに対する治療効果が来春には発表される予定であります。

以上のような点から、非薬物あるいは薬物によるAD脳内炎症(サイトカイン増加やグリアの活性化)の高まりの調整は重要なAD/MCI予防戦略と考えられます。



緑のカーテン



りらいふの芸術活動では、陶芸やちぎり絵といった様々な『ものづくり』を行っていますが、夏を間近に控えた時季には『緑のカーテン』を作っています。

今年は『三尺ささげ』という豆の苗を植えました。そして5月の中ごろを過ぎたころでしょうか、可愛らしい双葉がたくさん出てるではありませんか。なんと、去年育てた『朝顔』と『ゴーヤ』の種が自然に土に落ちてそこから芽が出て育ったのです。植物の生命力はすごいですね!



利用者様と一緒に草採りや追肥をしたり、ツルを這わせるネットを張ったりと土や植物に触れ合うことを楽しみながら育てていきました。その後はどんどんツルが伸びていき、7月に入ったころには見た目にも涼しげな立派な緑のカーテンができあがりました。そして7月中旬には『三尺ささげ』の莢(さや)がたくさん実り、収穫しておやつ時間にいただきました。摂れたての莢はとても甘くてシャキシャキしていておいしかったです。



りらいふでは芸術活動とリズム体操に力を入れて、利用者様の身体機能と認知機能の両方にアプローチした活動を提供していますが、季節に応じた行事やイベントなども積極的に行っています。これからも利用者様と『ゆっくり・一緒に・楽しく』さらに『元気に・いきいきと』過ごしていきたいと思っています。



デイケアサービス りらいふ [お問い合わせ](#) TEL:04-2928-7677 りらいふ 大木 孝介

地域医療連携室かわら版



地域医療連携室 坂本 大輔

地域医療連携室の坂本 大輔と申します。主に入院受け入れを担当させていただいております。地域の病院との連携を図り、スムーズに患者様をご案内できるよう努力してまいります。まだまだ不慣れな点も多いですが、介護保険制度や福祉サービス医療制度などご相談いただけたらと思います。院内で見かけたら、お気軽にお声かけて下さい。宜しくお願い致します。

※見学希望の方は、明生リハビリテーション病院地域医療連携室
石塚・山本までお電話下さい。TEL:04-2929-2220

ホームページのご案内

病院の詳細な内容は、ホームページでご覧いただけます。ぜひご参照くださいませ。グループ病院ホームページにもリンクできます。

明生リハビリテーション病院

検索

<http://www.meisei-reha.jp/>



一般社団法人 巨樹の会

明生リハビリテーション病院

〒359-1106 埼玉県所沢市東狭山ヶ丘 4-2681-2
[西武池袋線] 狭山ヶ丘駅東口下車 徒歩 15分

タクシーをご利用の場合
西武池袋線小手指駅北口より約5分

お問い合わせ

TEL 04-2929-2220

FAX 04-2939-2136

交通のご案内

